



# 第27期 定時株主総会

2023年9月27日  
株式会社アバントグループ

事業報告・中期経営計画「BE GLOBAL 2028」について

## 第27期連結会計年度事業概要

- お客様である日本企業の「データ及びデジタル技術を活用した企業経営・企業活動の高度化」を通じた競争力維持・強化のための投資ニーズの高まりにより、当社グループの製品・サービスに対するニーズは堅調に拡大。
- 新中期経営計画のスタートに向けた体制整備を推進してきたことにより、人材確保を目的とした競争力強化に伴う待遇向上ならびに人員増を背景とした人件費の増加、グループ再編に伴うリブランディング、グループ会社におけるプロダクトの整理ならびに開発環境の整備などによる費用増に伴い、営業利益率は悪化したものの、営業利益は前年比で増加し、13期連続の増収、8期連続の増益を達成。



## 財政状況の推移

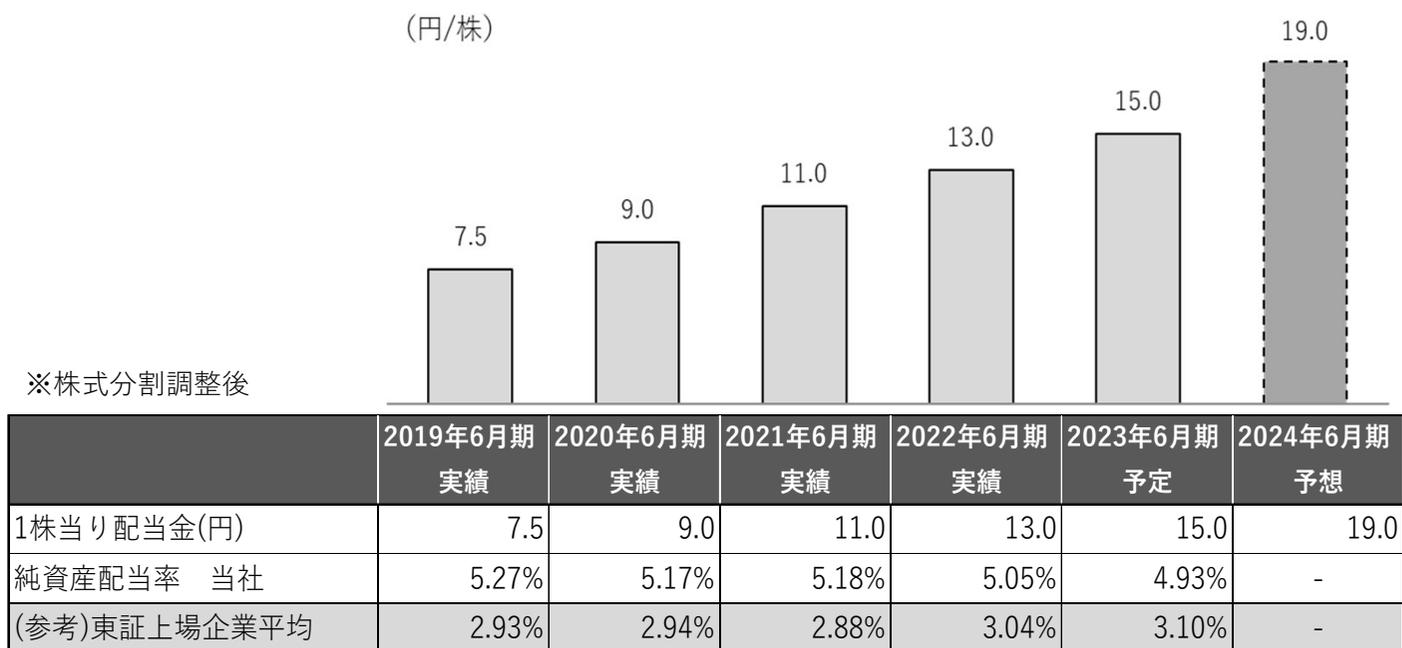
- 売上高の成長と利益体質により、順調に資産および純資産が積み上げされている
- 一方で、借入等に頼らず営業活動から得られるキャッシュフローでの運営ができており、負債比率は低下してきているため、自己資本比率は配当金を年々増配させているものの引き続き上昇傾向にある



2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

## 株主還元方針

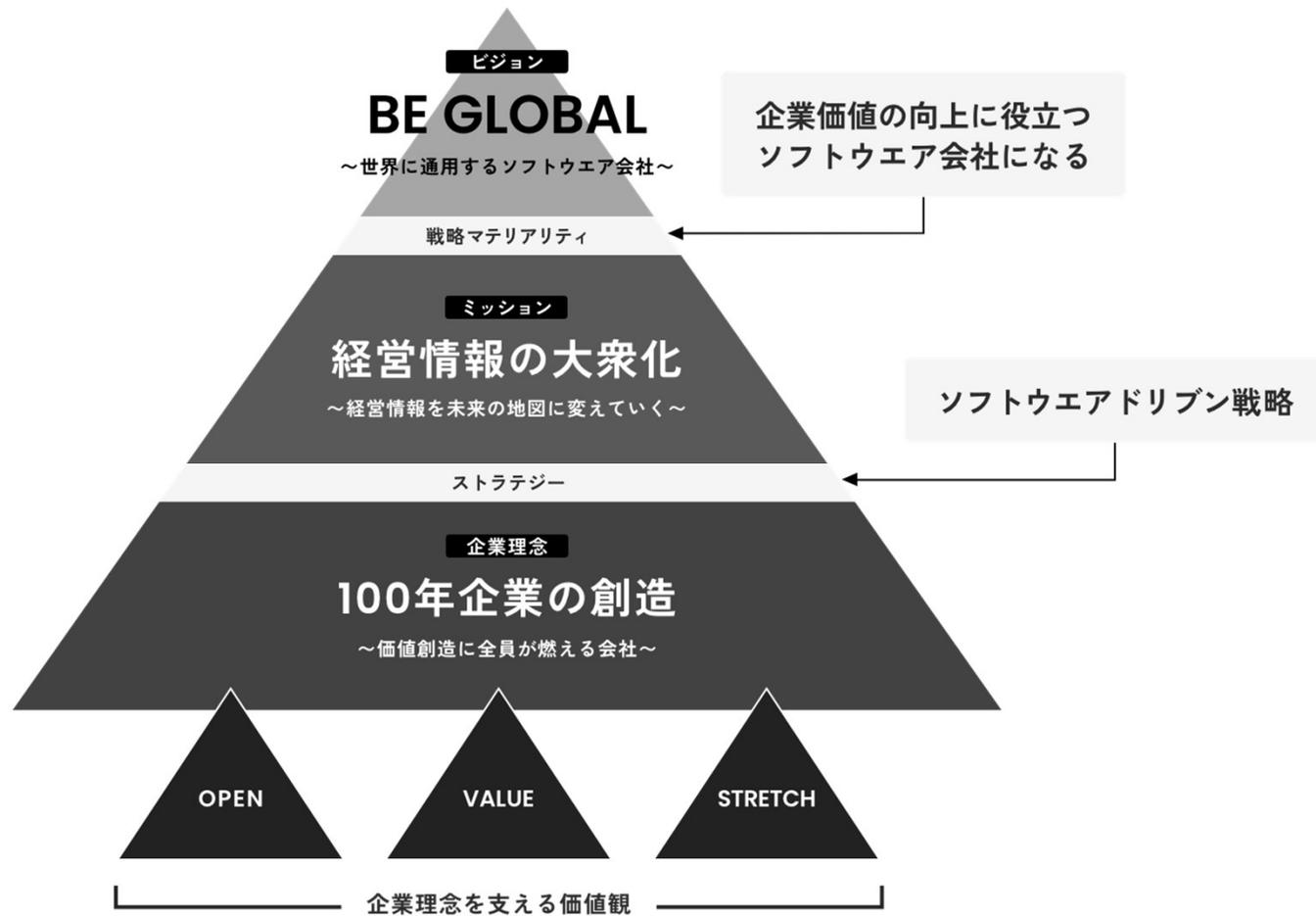
- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率は東証全上場企業の平均値を常に上回り、新中期経営計画の期間内に8%の達成を目指す



(注) 東証上場企業平均純資産配当率は6月までの12ヶ月(23年6月期については5月までの12か月)に公表した企業の月次数値を加重平均したもの

# 新中期経営計画「BE GLOBAL 2028（BG28）」について

# アバントグループの理念体系



# アバントグループはBE GLOBAL実現に向けた次の5年へ

## 連結会計事業「国内トップシェア」を確立

## 持株会社制／グループ経営の拡大

## BE GLOBAL

政府主導  
イニシアティブ

■連結会計制度  
(2000年3月期～)

■四半期開示義務化  
(2003年4月～)

■内部統制報告制度 (J-SOX) 導入  
(2008年4月～)

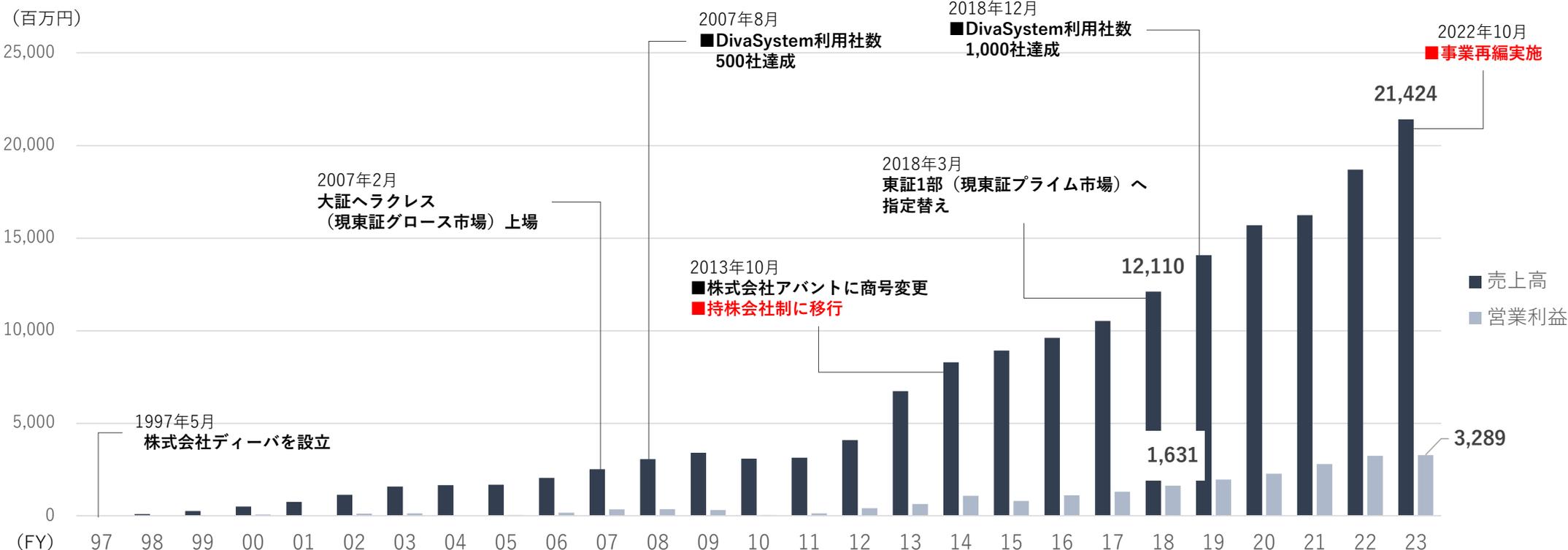
■IFRS任意適用  
(2010年3月期～)

■コーポレート  
ガバナンス・コード  
(2015年6月～)

■グループ・ガバナンス  
実務指針  
(2019年9月～)

■公正な買収の在り方に関する研究会  
(2022年～)

■事業再編実務指針  
(2020年7月～)



## 中期経営計画「BE GLOBAL 2023 (BG23)」の振り返り

- 中計期間も増収増益（13期連続増収、8期連続増益）を続け、オペレーショナルKPI、財務KPIともに達成、売上高・営業利益は中計期間において2倍近い成長を実現した
- ビジネスモデルの転換は新中計「BE GLOBAL 2028 (BG28)」で実現し、成長を加速させる

		FY18 実績	FY23 目標	FY23 実績	
Operational KPI	売上高（億円）	121	180~220	214	← 売上高・営業利益ともに中計の目標を達成し、中計期間で売上高は1.8倍、営業利益は2倍に成長
	営業利益（億円）	16	31~38	32	
Strategic KPI	ストック売上比率（%）	33	70	35	← ビジネスモデルの転換は果たせず、戦略KPIはいずれも未達であったが、ストック売上高はFY18の40億円からFY23には76億円まで増加
	売上成長率+ 営業利益率（ポイント）	28.5	40以上	29.9	
Financial KPI	ROE（%）	24.5	20以上	22.2*	← ROE・配当ともに中計の目標を達成
	配当（円）	12	15以上	15	

\*FY19期～FY23期の平均、ただし、FY22期以降は新収益認識基準。FY23期の実績は18.3%

# 「BE GLOBAL 2023」の株価パフォーマンス

- BG23期間中に株価は約3倍へ
- 事業パフォーマンスと相関のある株価形成を進めてきた



## BG28のアウトルック

- 純利益増加（3倍）によるファンダメンタルの向上、ならびに、ソフトウェア中心にシフトすることによる将来CFの増加により企業価値を高める

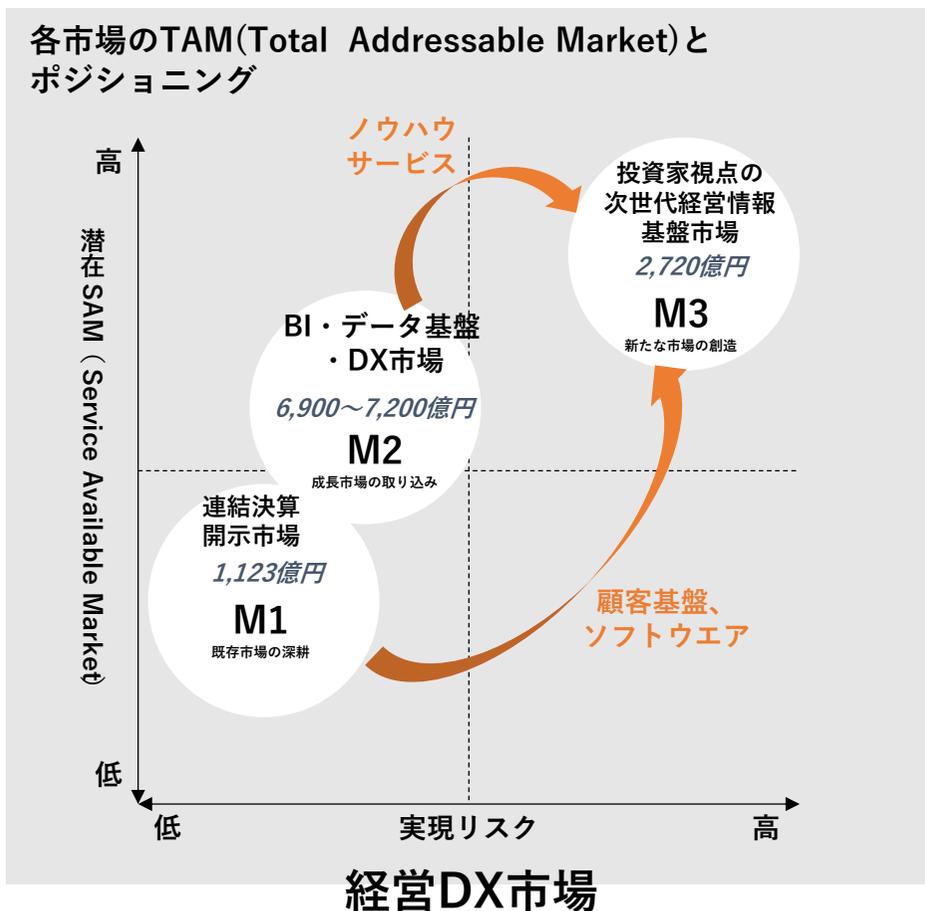
	FY23	FY24	FY28	5年変化/平均
売上高	214億円	240億円	400~450億円	2x
営業利益	32.8億円	38.5億円	90~110億円	3x
営業利益率	15.4%	16.0%	20~24%	+5~9pts
純利益	20.9億円	25.0億円	60~70億円	3x/CAGR 25%
1人当たり営業利益	2.4百万円	2.4百万円	3.5~4.3百万円	1.5x
ソフトウェア粗利益	21.3億円	21.7億円	60~65億円	3.0x
ROE	18.3%	19.3%	20%以上	AVG 20%
DOE	4.9%	5.3%	8%以上	AVG 7%
配当	15円	19円	51円以上	3.4x

グループ戦略推進の  
最重要CSF

# BG28で注力する市場

■ 企業価値の向上がシリアスな課題となっている企業向けの経営DX市場にポジショニングする

各市場のTAM(Total Addressable Market)とポジショニング



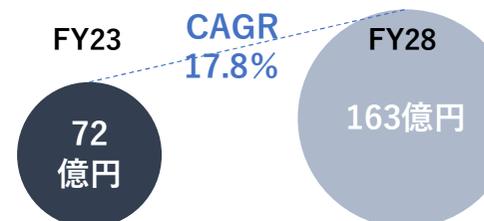
**M1**  
既存市場の深耕

新セグメント名称 連結決算開示事業



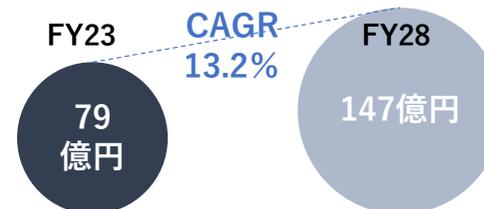
**M2**  
成長市場の取り込み

新セグメント名称 デジタルトランスフォーメーション推進事業



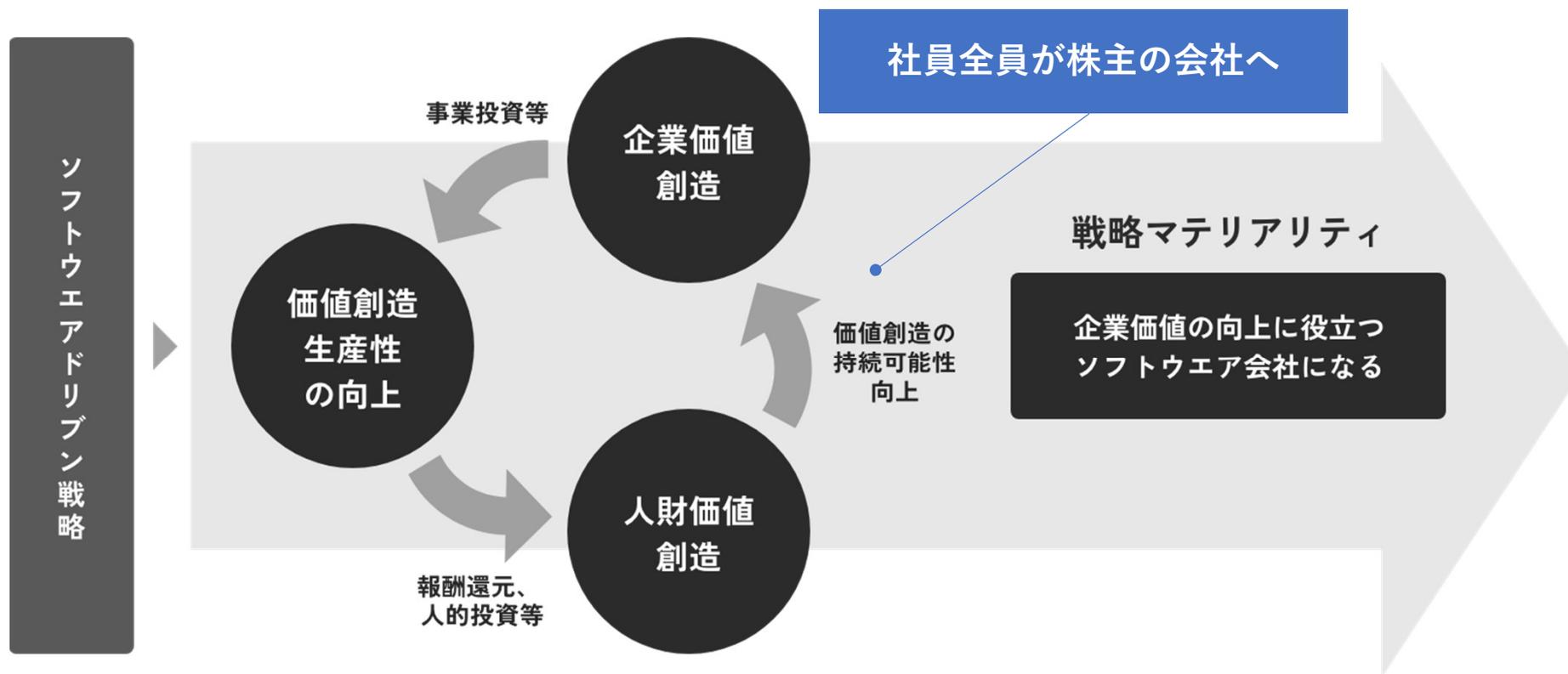
**M3**  
新たな市場の創造

新セグメント名称 経営管理ソリューション事業



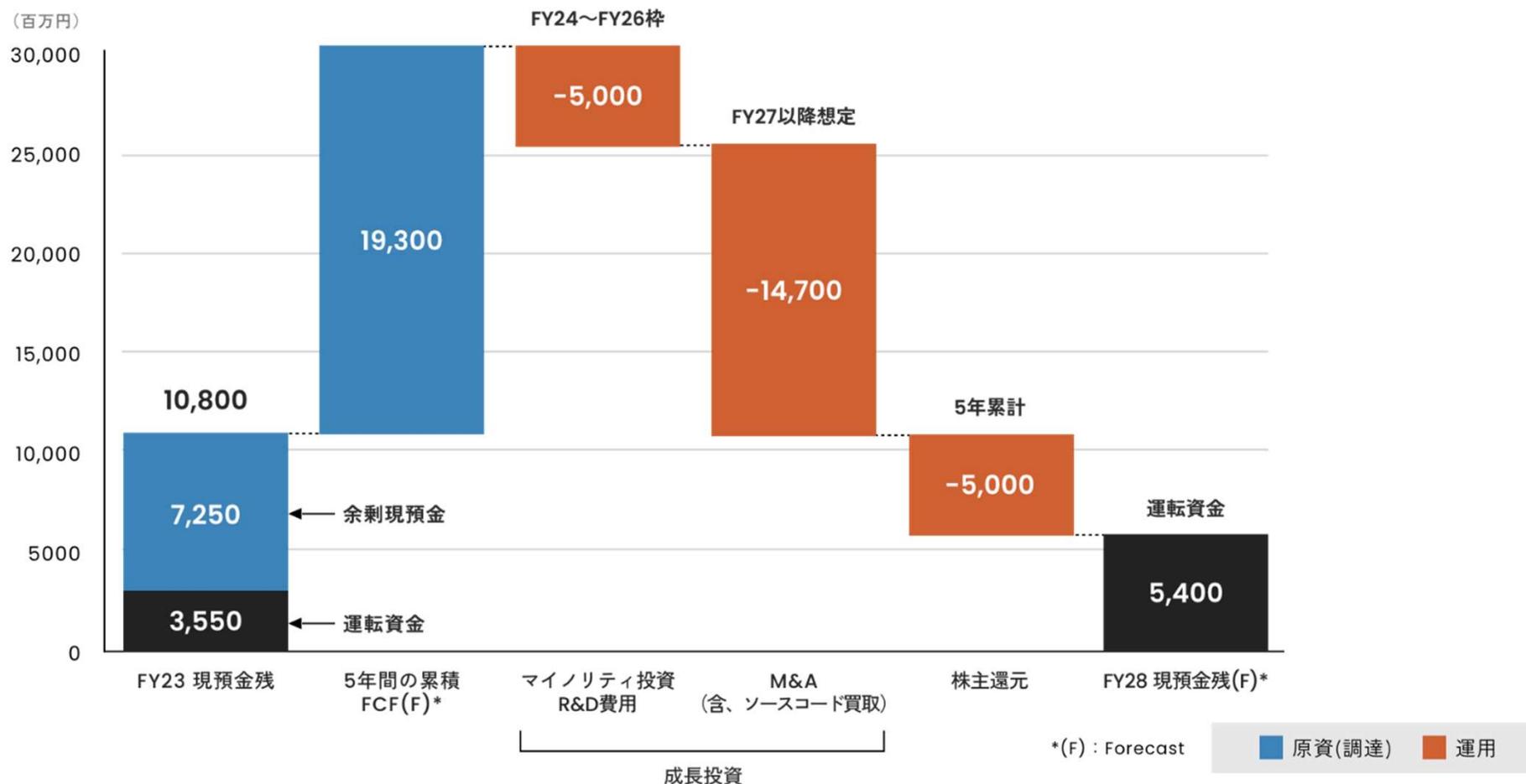
## BG28で目指す価値創造スパイラル

- ソフトウェアをすべての事業の成長ドライバーとして、ソフトウェアポートフォリオを整理、見直し、価値創造生産性の向上を推進する
- 全社員株主化で、企業価値向上への社員への参加意識を高める



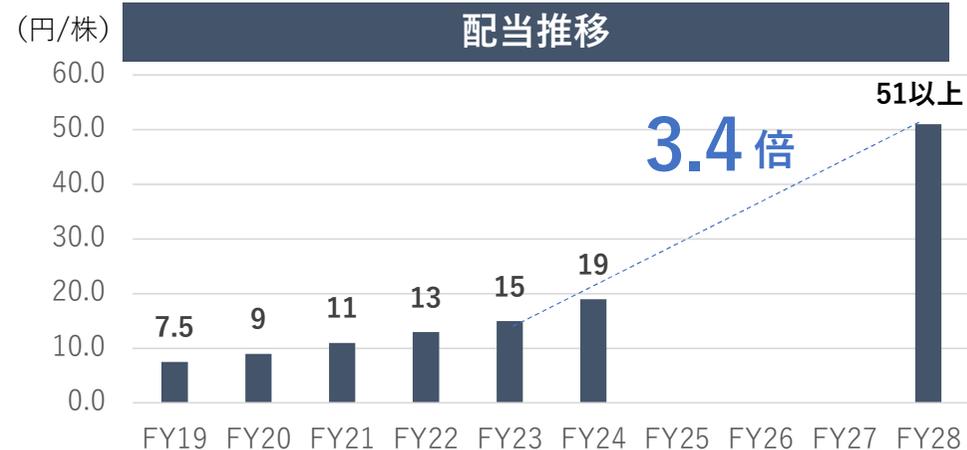
# キャピタルアロケーション

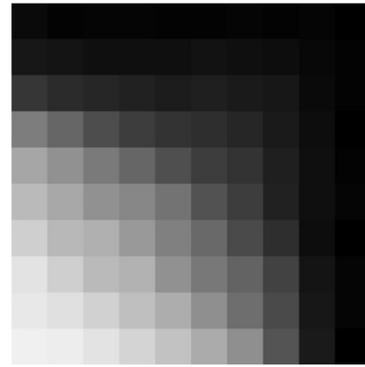
■ 中計期間の5年間で成長投資に総額200億円、株主還元(配当)にのべ50億円の支出を想定



# BG28のサマリ

■ 売上高2倍に対して純利益3倍の、価値創造生産性の向上を伴う事業成長を行う





AVANT GROUP

SUSTAINABILITY IS VALUE